



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 日本農業株式会社
 コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友井 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 飯島 豊和
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6361-1400

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	46,502	18.6	3,478	30.8	3,606	23.0	2,175	20.2
28年9月期第3四半期	39,217	14.8	5,030	50.7	4,681	51.5	2,727	57.5

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 4,036百万円 (%) 28年9月期第3四半期 1,591百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	32.55	
28年9月期第3四半期	40.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	96,706	51,719	50.7
28年9月期	88,791	48,697	52.1

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 49,022百万円 28年9月期 46,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		7.50		7.50	15.00
29年9月期		7.50			
29年9月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	17.5	3,900	11.9	3,600	6.9	2,200	112.5	32.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	70,026,782 株	28年9月期	70,026,782 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	3,189,456 株	28年9月期	3,189,034 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	66,837,547 株	28年9月期3Q	66,838,281 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の伸長を背景に雇用情勢が改善し、個人消費が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、景気の先行きは米国の金融政策の影響や中国を始めとするアジア新興国経済の先行きの不確実性と金融資本市場の変動の影響などにより依然不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Advance to Growing Global 2018 (AGG2018) グローバル企業への前進」に取り組み、海外事業の拡大と自社開発品目の普及拡販を目指しました。当第3四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度末に連結子会社化したブラジルのSipcam Nichino Brasil S.A.の業績を含めたこともあり、売上高は前年同期を上回りました。また、海外農薬事業がグループ全体の売上高の過半を超えました(50.4%)。一方、利益面ではノウハウ技術料収入が大きく減少したことなどから前年同期を下回りました。

売上高は465億2百万円(前年同期比72億85百万円増、同18.6%増)となりました。営業利益は34億78百万円(前年同期比15億51百万円減、同30.8%減)、経常利益は36億6百万円(前年同期比10億75百万円減、同23.0%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億75百万円(前年同期比5億51百万円減、同20.2%減)となりました。

なお、当社グループの売上高および利益は農薬の需要期となる第2四半期連結会計期間に集中する季節性があります。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、過年度流通在庫の影響から水稲用除草剤の販売が低迷しました。また、農薬原体販売では、販社の在庫調整などから一部の園芸用殺虫剤の売上高が伸び悩みました。しかしながら、てんさい用除草剤「ビートアップ」の販売を開始し品目ポートフォリオの拡充を図るとともに、園芸用殺虫剤「フェニックス」や水稲用殺菌剤「ブイゲット」などの主力自社開発品目の普及拡販に努めた結果、国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、米州・アジア地域の販売が好調に推移しました。北米はNichino America, Inc.の主力品目である殺菌剤「モンカット」、棉落葉剤「ET」の販売が好調に推移しました。南米はブラジルで過年度流通在庫の影響はありましたが、金利低下など経済環境の好転の影響もあり、売上高が伸長しました。また、アジア地域は地域毎の販売環境の差異はありましたが、2年連続の干ばつの影響を受けたインドのHyderabad Chemical Pvt.Ltdの業績が回復したことなどから売上高が伸長しました。さらに、Sipcam Nichino Brasil S.A.の業績を含めたことにより、米州地域がアジア地域を越え、海外販売の売上高の最も大きなウェイトを占めるとともに、海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

ノウハウ技術料収入は、技術導出先の主要販売地域での害虫の小発生の影響などから同導出先の売上が伸び悩み、前年同期を下回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は424億15百万円(前年同期比77億81百万円増、同22.5%増)となり、営業利益は30億21百万円(前年同期比10億1百万円減、同24.9%減)となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、緑化薬剤分野の販売が好調に推移しました。また、シロアリ薬剤分野も株式会社アグリマートとの協働による販売戦略が奏功し売上高が伸長しました。一方、医薬品事業では、販売競争の激化などから外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の爪白癬分野での売上高が伸び悩みました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は26億9百万円（前年同期比6億19百万円減、同19.2%減）となり、営業利益は7億60百万円（前年同期比5億29百万円減、同41.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ79億14百万円増加し、967億6百万円となりました。これは、売上債権の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ48億93百万円増加し、449億86百万円となりました。これは、仕入債務の減少を上回る短期借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ30億21百万円増加し、517億19百万円となりました。これは、四半期純利益による利益剰余金及び為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,159	11,953
受取手形及び売掛金	19,465	26,518
電子記録債権	603	2,000
商品及び製品	10,065	11,129
仕掛品	454	704
原材料及び貯蔵品	4,273	4,373
その他	3,741	4,196
貸倒引当金	△418	△442
流動資産合計	53,344	60,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,565	5,665
機械装置及び運搬具（純額）	3,553	3,471
土地	6,354	6,467
その他（純額）	1,018	840
有形固定資産合計	16,491	16,444
無形固定資産		
のれん	7,150	7,451
その他	978	1,085
無形固定資産合計	8,128	8,537
投資その他の資産		
投資有価証券	6,156	6,684
その他	4,684	4,631
貸倒引当金	△13	△27
投資その他の資産合計	10,827	11,288
固定資産合計	35,446	36,270
資産合計	88,791	96,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,833	8,229
電子記録債務	460	825
短期借入金	4,449	10,507
未払法人税等	119	759
賞与引当金	630	322
製品回収関連費用引当金	1,044	137
その他の引当金	23	39
営業外電子記録債務	138	72
その他	6,809	6,794
流動負債合計	22,509	27,688
固定負債		
社債	1,848	2,014
長期借入金	11,567	11,093
その他の引当金	91	54
退職給付に係る負債	1,418	1,374
その他	2,657	2,762
固定負債合計	17,583	17,297
負債合計	40,093	44,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	26,351	27,525
自己株式	△1,726	△1,726
株主資本合計	48,801	49,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,353	1,782
為替換算調整勘定	△3,766	△2,626
退職給付に係る調整累計額	△101	△108
その他の包括利益累計額合計	△2,514	△951
非支配株主持分	2,410	2,697
純資産合計	48,697	51,719
負債純資産合計	88,791	96,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	39,217	46,502
売上原価	23,132	30,495
売上総利益	16,085	16,007
販売費及び一般管理費	11,054	12,528
営業利益	5,030	3,478
営業外収益		
受取利息	30	266
受取配当金	84	93
不動産賃貸料	61	62
為替差益	313	206
持分法による投資利益	—	216
その他	64	147
営業外収益合計	555	993
営業外費用		
支払利息	120	355
デリバティブ評価損	—	227
持分法による投資損失	646	—
その他	138	282
営業外費用合計	905	865
経常利益	4,681	3,606
特別利益		
固定資産処分益	9	—
投資有価証券売却益	—	169
特別利益合計	9	169
特別損失		
固定資産処分損	54	12
製品回収関連費用	311	113
特別損失合計	365	125
税金等調整前四半期純利益	4,325	3,650
法人税等	1,586	1,438
四半期純利益	2,738	2,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,727	2,175

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,738	2,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△487	428
為替換算調整勘定	△1,627	1,702
退職給付に係る調整額	△8	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,206	△299
その他の包括利益合計	△4,329	1,824
四半期包括利益	△1,591	4,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,456	3,737
非支配株主に係る四半期包括利益	△134	298

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,633	3,229	37,863	1,354	39,217	—	39,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	2	8	728	737	△737	—
計	34,639	3,232	37,872	2,082	39,954	△737	39,217
セグメント利益	4,022	1,290	5,312	304	5,617	△586	5,030

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△586百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△548百万円、未実現利益の調整等△38百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,415	2,609	45,025	1,477	46,502	—	46,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	0	7	686	693	△693	—
計	42,422	2,610	45,032	2,163	47,196	△693	46,502
セグメント利益	3,021	760	3,781	296	4,077	△598	3,478

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△598百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△598百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。